



川崎大師ロータリークラブ 週報

例会日 毎週水曜日 PM12:30~

例会場 大本山川崎大師平間寺信徒会館

事務局 寺210-0812 神奈川県川崎市川崎区東門前1-15-10 カーサ石井1F

Tel.044-277-7569 Fax.044-288-8550

URL <http://www.kawasakidaishi-rc.com/>

E-mail: daisi-rc@eagle.ocn.ne.jp

会長 竹田 正和
副会長 矢野 清久
幹事 須山 文夫
SAA 中村 孝

第2087回（本年度 第35回）例会 平成28年3月23日 一晴一

●司会 中村 孝 SAA

●点鐘 竹田 正和 会長

先週は台北を訪問してお休みさせていただきました。申し訳ありませんでした。

●斉唱 「我等の生業」

坂東 保則 ソングリーダー



会長報告

竹田 正和 会長

・米山記念奨学会より川崎大師RCに委嘱状が届いております。

4月1日からお預かりする奨学生はネパールの方でサルマ・サンゲさん。横浜商科大学へ通われております。



卓話者紹介

竹田 正和 会長

今日は卓話がございます。市川緋佐 様です。国際ロータリー2590地区 13-14年度のガバナーです。詳細なご案内は卓話が始まる前に渡辺プログラム委員長よりご紹介があるかと思ひます。



・高濱玲奈 会員にカウンセラーの委嘱状が届いております。



・先週の3月14日から16日で台北西門RC創立39周年に訪問させていただきました。

訪問メンバーは野澤パスト会長ご夫妻、水口次年度副会長、沼田現親睦委員長、会長の5名で訪問してまいりました。素晴らしく盛大なパフォーマンスを観させていただきました。

次の年は40周年ということで、皆さまご存知のピグメントさんのご子息ピグメントジュニアが会長になります。盛大に40周年も迎えるのかなあとおぼやかしかったです。来年も続けて訪問の機会があるかと思っておりますのでよろしくお祈りいたします。

台北西門RCの記念誌、歌集を回覧いたします。事務局でお預かりしてあります。

記念品の国立故宮博物院の置物も回覧いたします。

・10月に訪問した南三陸町立戸倉小学校太鼓と三味線を寄贈させていただきました。

戸倉小学校より6年生14名がこの土倉小学校を巣立ちます。あたたかなご支援有り難うございました。未来に向かって頑張ります。とハガキをいただきました。

・薪能のポスター

5月12日17時30分から第41回川崎大師薪能のポスターが届いております。

S席6000円、A席3600円です。チケットの販売もしておりますので、よろしくお祈りいたします。

幹事報告

須山 文夫幹事

・横浜南ローターアクトクラブ、新横浜ローターアクトクラブ合同で第9回たばこ吸い殻拾いウォーキングが4月10日(日)に開催されます。

・ハイライト米山192号 回覧

今回2590地区の気仙沼、大島への継続的支援の記事が書かれています。ご覧ください。

・3月31日 お花見移動例会の出欠今日が最終日です。

・4月6日 第5回研修会を行います。
18時30分～ ご出席お祈りいたします。

・他クラブの例会変更 回覧。
メイクアップ等にご活用ください。



出席報告

高濱 玲奈出席委員長

	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
2087回	57	48	31	17	64.58%
2085回	57	48	31	17	64.58%
前々回の修正	メイクアップ	3名	修正出席率	70.83%	

メイクアップ:

野澤 隆幸、林 鶴、沼田 直輝 各会員

スマイルレポート (ニコニコボックス)

須山 文夫幹事

伊藤 佳子会員

本日は卓話楽しみにしておりましたが、急用のため残念ながらお話を聞けず、次回を楽しみにしております。

出井 宏樹会員

台北西門ロータリーご訪問お疲れ様でした。

竹中 裕彦会員

1. 今朝のポスター貼りをすっかり忘れまして。ゴメンナサイ
2. 明日から花冷えだそうです。まだまだご自愛下さい

野澤 隆幸会員

家内の誕生日祝のお花有難うございました。大変に喜んでいました。

渡辺富士夫会員

市川パストガバナー本日の卓話を楽しみにしています。宜しくお願い致します。

牛山 裕子会員

今朝のポスター貼り、ドタキャンして済みませんでした。猫アレルギー、気管支炎は直りませんが、ロータリーで皆様にお会いすると元気になります。

船木 幸雄会員

美しいお花をありがとうございました。

松井 昭三会員

来週のお花見例会で、クラブ復帰してから1年に成りません。短期でしたが、様々な事が有りました。病状回復順調です。

矢野 清久副会長

急に役所に呼ばれたため早退させていただきます。

竹田 正和会長

- ①市川パストガバナー、本日はようこそ大師へお越し下さいました。卓話をよろしくお願ひします。
 ②台北西門RC訪問メンバーの皆様、おつかれ様でした。
 ③家内の誕生日のお祝い花ありがとうございました。

本日のニコニコのテーマ

「市川パストガバナー

本日はご指導の程宜しくお願ひ致します。」

坂東 保則、寺尾 巖、鈴木 昇二、白石 浩司
 中村 眞治、野澤 隆幸、布川二三夫、細谷 重徳
 秦 琢二、黒澤 穰、高濱 玲奈、木村 秀文
 竹内 祥晴、鈴木 幹久 各会員

合計 41,000円

**野球同好会**

中村 眞治監督

3月4日 説明会があります。

BCDの更の下にGクラブ16チームでありまして、理事長である川島さんから16チームに優勝旗とトロフィーを用意頂き、Gクラスで6月26日、9時から第2試合行なうことになりました。

皆さんのご理解と後押しがあって我々活動できています。野球部一同ケガの無いよう張り切って練習して、ロータリークラブの名前を川崎市に高めてきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。ありがとうございました。

地域環境保全委員会

猪狩 佳亮委員長

本朝8時30分から殿町小学校で桜のポスター貼、7名の会員の方に参加して頂き、行ってまいりました。ご参加いただきました皆様ありがとうございました。参加したメンバーで一生懸命貼ってまいりました。子どもたちのポスターをみるのは個性があり、テーマも一貫されています。良いポスターがたくさん貼ってありますので、もしお花見に行かれる方はご覧いただければと思います。

**同好会委員会**

白石 浩司委員長

来週水曜日 竹田年度第2回、立野クラシックゴルフクラブで盛大に行う予定です。今回は4組で、大先輩たちが普段の腕をふるって参加して頂くということ、楽しみにしています。30日は天候も晴れであたたかいということなので、けがの無いよう参加をお願いします。



卓話者のご紹介

渡辺富士夫プログラム委員長



市川 緋佐磨 (いちかわ ひさまる) 様

略歴 :

- 1965年3月 慶応義塾大学法学部法律学科を卒業
- 1966年3月 國學院大學神道学専攻学科を卒業
神職資格を取得
- 1966年4月 稲毛神社に奉職
- 1991年4月 稲毛神社 宮司に就任し現在に至る
- 2013年2月 神職身分特級
宮司としての最高位をいただく

ロータリー歴 :

- 1982年10月 川崎ロータリークラブ入会
- 1990年~2000年 川崎クラブ副会長
- 2003年~2004年 同クラブ会長
- 2010年~2011年 国際ロータリー2590地区第1グループ
ガバナー補佐
- 2012年~2013年 同地区のガバナーエレクト
- 2013年~2014年 2590地区第38代 ガバナーに就任
- 2014年~2015年 2590地区戦略計画副委員長諮問委員
- 2015年~2016年 2590地区戦略計画副委員長諮問委員
現在に至る

ロータリー財団マルチプルポールハリスフェロー・ベネ
ファクター・ポールハリス ソサエティ会議
米山記念奨学会功労者
大変豊富なロータリー歴をお持ちです。

今日はロータリーではなく神社についてのお話をしたい
いただきます。
宜しくどうぞお願いします。

卓 話

市川 緋佐磨様

皆さんこんにちは

ご紹介をいただきました市川でございます。

今日は神社の話をさせていただきたいと思えます。

神社というのは日本ではたいへん古く、いつ頃できたか
という初期の頃についてはほとんどわかっていないと言
っていいようなものです。

神社、神道という信仰はその時代、その時代の人々が自
分たちでこうではないだろうか作り上げてきたもので
すので、どなたかがこういう理由で、こういうことを言
って、こういうおかげで、こういう教えになっていると
いうことが全くないんです。

いつ、だれが、言い出したからこうなったのかというこ
とはわかっておりません。

皆さんもお感じになっているかと思いますが、地方によ
ったり、時代によったりして随分違うところがございま
す。

そういうものですから私の言っていることが全部神道と
して日本国中に通じるかということ、通じないこともある
かもしれません。

そうご承知いただき、聴いていただけたらと思えます。

昔から日本人は有形無形すべてのものに御霊があり、そ
の御霊の働きによって、私たちは幸せに暮らすことがで
きる こう考えてまいりました。

すべてのものに御霊がある、この働きを一つには恵みと
申します。

御霊がきちんと働いてくださると、私たちに恵みをもた
らしてくださいませ。

しかしすべてのものが恵みをもたらす働きだけではあり
ません。

中には例えば太陽が照りすぎると日照りになったり、大
風が吹くと台風になって被害がでたり、津波がきたりと
いろいろございます。

そういうことについては、私たちに恵みをもたらしてく
ださるような働きは和魂(にぎみたま)の働き。通常私
たちはその和魂に対して良いお恵みをいただけるように
と祈っているわけです。

しかし御霊には荒魂という荒々しい働きもあるというこ
とも忘れてはならないということをいわれております。

すべてのものに御霊があると言っても、すべてのものを
きちんと毎日拝んでいるとか、忘れずに儀式を捧げている
というわけにはなかなかまいりません。

このうちの代表的なもの、2つについて私たちはきちんと
お詣りをしたり、捧げものをしたりしようではないか
ということになっているようです。

1つは太陽の恵みであります。

太陽の恵みは日本国中どこにでも天から恵みがやってま
いります。この恵みをもたらす神様を天照大神と名付け
ましたが、この天照大神を伊勢神宮に祀りました。これ
で天の恵みを我々は祈るということになりました。



もう1つは地の恵み。

天と地の恵みがあれば衣食住に事欠くことはありません。地の恵みはすなわち氏神様の恵みであります。氏神様はそれぞれの地方ごとにたくさんございます。

川崎市内だけでも97社もあります。それぞれ自分の住まいの近くの神様を氏神様、地の恵みをもたらしてくださる神様としてお祀りをし祈願を捧げているのであります。大まかにいいますと神道の教えはすべてのものに恵みがあると考え、すべてのものに祈りを捧げるのだけれども、それをすべてやっているわけにはいかないので天の恵みと地の恵みの2つを特に重要なものとしてお詣りをしたり、神棚にお祀りをしたりということをするというふうに申し上げておきたいと思えます。

それがお祀りや神道の全体的なことでありますが、稲毛神社はそういう中でどういう神社であり神様なんだということを話をさせていただきたいと思えます。

神様は1柱、2柱と数えます

稲毛神社には5柱の神様が祀られています。

武甕槌神（武勇の神様）、経津主神（武勇の神様）、菊理媛神、伊弉諾神、伊弉冉の神。

最初は武勇の神である武甕槌神様、1柱をお祀りし、昔の名前は武甕槌の宮とよばれていたという言い伝えがあります。

第29代の天皇陛下に欽明天皇という陛下がいらっしゃいました。

このかたの時に仏教が日本に渡ってきましたので、割と有名な神様です。

この神様の頃まだ東国と呼ばれていた関東から東北にかけては十分収まっておりませんで、代々の天皇陛下は天皇の軍隊をこちらに差し向けてなんとか早く閉廷して、やっつけ戦争を終わらせてしまいたいと考えておりましたが、欽明天皇は当時武甕槌の宮と呼ばれていた稲毛神社は天皇軍の戦勝を祈願する御宮として建てられたといわれておりますので、欽明天皇は稲毛神社にお詣りしましたところ、そんな東国の人をやっつけるということばかり考えてはいけなないと。

戦いには勝たなければいけないだろうけれども、戦いに勝ったからといってそのあと東国の人々をひどい目にあわせたり、奴隷のように扱ったりするようなことをせず、仲良く立派な国づくりをしていくべきではないのかとお告げがありました

戦いには勝たなければならぬので経津主神という戦いの神をお祀りし、更には仲良くする神様 菊理媛神、伊弉諾の神、伊弉冉の神 合計4柱を新たにお祀りをし、合計5柱の神様をお祀りするようになりました。

それ以後稲毛神社のご神徳は「勝」「和」について深いお教え、お恵みをもたらしてくれると言われております 神社では1年に1回、あるいは2回のところもありますが、御祭（正式名称は例祭）を行います。

稲毛神社では孔雀神輿、玉神輿という2つの神輿があります。御神輿は神様の御御霊が乗ってあるく輿です。孔雀神輿を男神輿、玉神輿を女神輿というように呼んでおります。

どうもそれはあまり正確ではありません。つまり珠神輿の方に乗るべき御御霊は菊理媛神様、伊弉諾神・伊弉冉の神様です。菊理媛神、伊弉冉神は女性の神様、伊弉諾神様は男の神様です

珠神輿にも男の神様が祀られているということがいえません。正確には宗教学者が研究してくれた時期もありそれによりますと、孔雀神輿が外来神、玉神輿が土着神を祀っているのではないかとされています

神輿の出ていく前の日に宮座敷という古い色彩を持った式典が神社で行われます。これは大変古くから伝えられている神饌物をお供えし、宮座というお祭りについて特権を持ったグループが歴史的にあり、その方々がその家柄の方々がお越しになり宮座敷という式典を行います。この時には神饌物をつくる係の家の人たちが麦を料理を作ってそれを神様にお供えして、お供えが終わったら下げてきて皆でいただくという儀式がございます。これを宮座敷といいます。大変古い時代の色彩を残しているということで神奈川県文化財になっております。

その式典が終わると2つの神輿に御御霊を移す儀式が始まります。御霊移しとよんでいます、孔雀神輿には武の神様（勝の神様）、玉神輿には和の神様をお祀りします。

宮座敷でお供えする麦で作ったお供え物は、古くは稲などがあまりできない時代は麦をつくっていたのではないかと。麦は江戸時代になっても大森から戸塚位まで麦づくりが盛んな土地であったためか。

麦を神様の御供え物に使うということは大変珍しいことです。ほかの地方ではほとんどない、この地方独特のもののようなのです

江戸時代に松尾芭蕉が川崎宿で見送りに来た弟子たちと八丁畷のお茶屋で別れの句会を催したという逸話をご存知かと思いますが、その時に芭蕉の詠んだ句は「麦の穂を たよりにつかむ 別れかな」という句で今でも句碑で残っております。

麦の穂は季語ですが、川崎で別れたのですよという土地のことを表す事なんだろうと思います。

それと稲毛神社のお祭りのお供え物とはどこか通じるものがあるなと思っております。

あくる日の朝早く2つの神輿は稲毛神社を出発します。この時、必ずお神輿は孔雀神輿を先に、玉神輿を後に行きます。玉神輿が女神輿と呼ばれたり、和の神輿と呼ばれたりいたします。その神輿は孔雀神輿より荒々しく担ぐ、担ぐというより担いでいるとそうになってしまうんだと担ぎ手はっています。

氏子の町内を回って渡田の新田神社、境内に祀られている姥ヶ森弁財天にまいります。そこで簡単な儀式を行い姥ヶ森の古い御手洗池の井戸から汲んだご神水を儀式後に神輿にかけるといふ行事がございます。

玉神輿を荒々しい担ぐというのは陣痛をあらわしているのではないかというのが民俗学の研究者の言葉です。そして前の日にお神輿を移す時に、少し変わった移し方をするのです。それぞれに少しずつ変わった納め方をいたします。その納め方は口外してはならないとなっておりますので口外できませんが、研究者によりますとそれは神様が結婚を表している、前の晩結婚をしてあくる朝荒々しく出ていくというのは陣痛をあらわしている、そして姥ヶ森でご神水をふりかけるのは産湯をあらわしているのではないかということがいわれております。

稲毛神社のお祭りでは時々、今でもそういうことを勉強している若い学生が「是非見学をさせて欲しい」ということで出てまいります

姥ヶ森では神様がご生まれになった産湯をかけるということなのでここには特別な行事が残っております。「神輿くぐり」といって子どもたちがお神輿の下をくぐって向こう側へでたら大きく伸びをすることをする子どもが元気に育つ、つまり神様のお子様のご生まれになったのと同じように自分たちの子どもも元気に育ってほしいという、この時くぐった人には特別なお守りがありそれをひとつづつ差し上げています。

今、大変人気があり昔は姥ヶ森だけでしたが今では、旭町1丁目とか、池田町、東田とかいくつか希望の町会ができて、合計4か所でやっております。

姥ヶ森は正式な名称では鋼管通りと呼ばれているところの一角です。その町会は今でも鋼管通という町会名にしないで姥ヶ森町内会とよんでおり、姥ヶ森町内会館という立派な会館がございます。そのすぐ隣に小さな門ですが姥ヶ森の弁天様と井戸が今でも祀られております。しめ縄、幟などをたてて姥ヶ森の皆さんが祀っておられます。ここには2つのエピソードがあります。

①昔姥ヶ森のあたりに一人の姥が住んでおり、稲毛神社（昔は山王様とよばれていた）を深く信仰しており毎朝必ず清水を汲んで、稲毛神社にお供えしていた。その姥が亡くなってから神様が姥に長い間世話になったなど御礼を言うために必ずお神輿は姥ヶ森を通るのだということがいわれております。

②ここには新田義貞が寄進したという馬場があり時々馬比べが行われていました。馬比べを姥が小さな子連れに見にきましたが、その子が転んで目をつぶしてそれがもて死んでしまいました。それ以後、姥ヶ森の森や池に住んでいる魚や蛙や虫などすべて片目になってしまった。という言い伝えがございます。

それによって稲毛神社の大切な御旅所（お神輿が必ずいかなければならない場所）となっております。

姥ヶ森にあった姥ヶ森弁財天は明治の末ごろに小神社合祀令ということで小さなお宮をまとめてしまいやたらに残さないというお触れがでました。これは大変なお触れで大反対する人がたくさんいましたが政府はそれを押し切って小神社合祀をいたしました。

その時に姥ヶ森弁財天は大きなお宮は新田神社ですので新田神社に移して祀られました。祀ったので正式には新田神社の境内に祀られている神社が姥ヶ森弁財天です。しかし姥ヶ森の人たちはそんないうことは聞いたことがないということで今でも姥ヶ森町内会の隣で姥ヶ森弁財天を祀っていただきます。新田神社の姥ヶ森弁財天の前で儀式を行い、清水をかけなければいけない、そのご神水は今でも姥ヶ森弁財天、姥ヶ森町内会の方々が用意して下さっています。

総評

竹田 正和会長

姥ヶ森という意味がやっとわかりました。僕は川崎の大島で生まれましたが、子どものころ姥ヶ森の少年野球チームとしょっちゅう試合をしていました。

なぜ鋼管通りなのに、町内会がないのにと感じていました。63歳ではじめて知りました。生まれは八幡神社がありました。今は潮田神社ですね。

神社よもやま、よろず話ありがとうございました。

●点鐘 竹田 正和会長

今日は市川パストガバナーにお話をいただきました。私先週出ておりませんが、先週の続きを「暴力団対策・・・」を4月20日にもう一度第2弾を行います。ぜひとも続きを聞いていただければと思います。

日時：平成28年4月6日(水)は
通常例会です。

ロータリーの友精読



秦 琢二／坂東 保則／水口 衛／松本 和晃